

市民パワー！



かつやま
しんぶん
こんなどこ

今年も「かつやま夏まつり」にたくさんの市民が参加し、各イベントは盛り上がりを見せました。特に、毎年趣向を凝らした作り物が練り歩く納涼みこしは、出場台数こそ減ったものの、どれも力作ぞろい。京福電車存続をアピールする作品が多く、担ぎ手の勢いは観客を圧倒していました。これぞふるさと活性化の源、市民パワー！



広報



'96

かつやま 9

No.491 / 平成8年9月12日

主な内容	
橋 歴史・思い出	2
平成8年度勝山市表彰	6
夏まつり カメラスケッチ	7
Hot・話題	8
アスペンミュージックフェスティバル	10

発行 福井県勝山市 編集 市長公室秘書広報課
〒911 福井県勝山市元町1丁目1-1
TEL0779-88-1111 FAX 88-1119

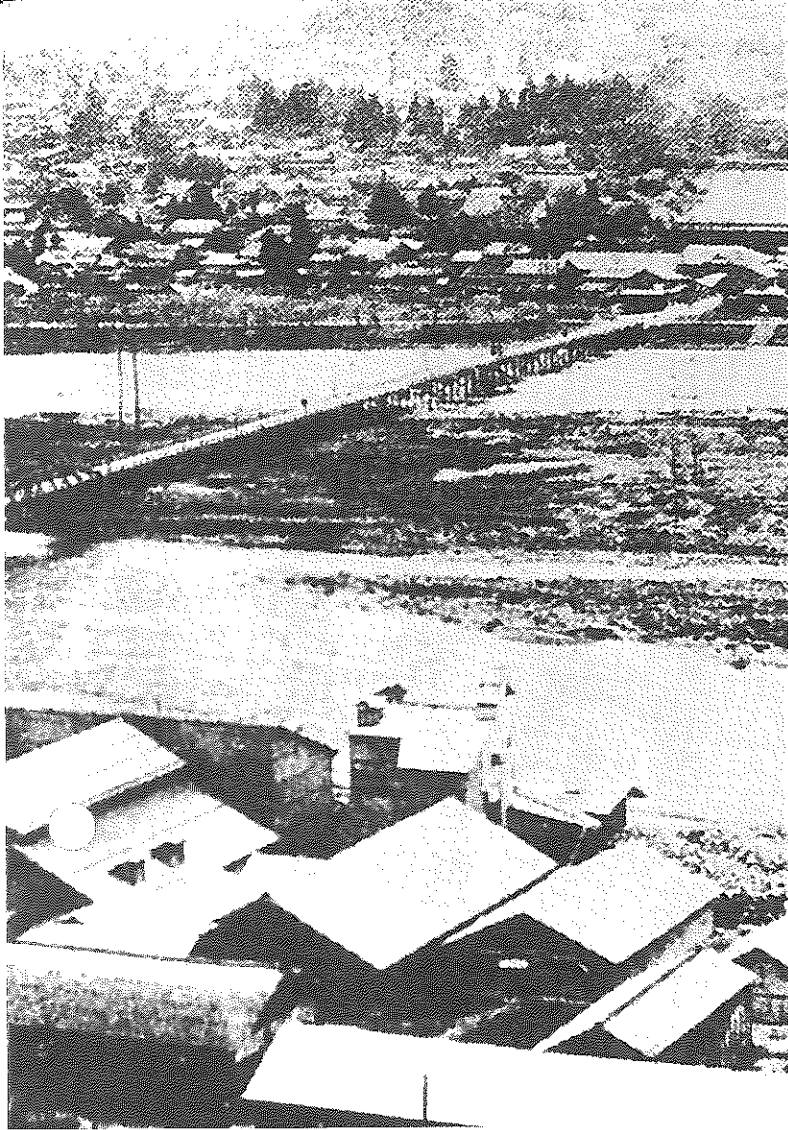
舟渡ししから架橋へ

交流を支えた歴史

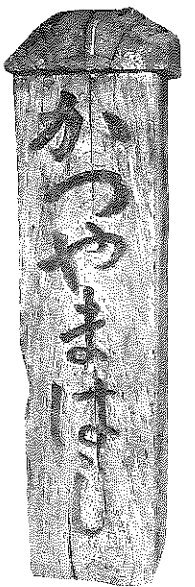
勝山橋

架け替え特集

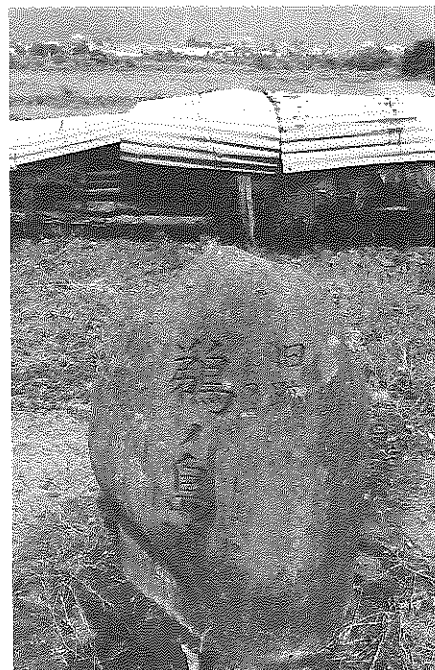
長年、九頭竜川兩岸の交流を支えてきた勝山橋の取り壊し作業が七月末から行われています。予定どおり工事が進むと、来年三月には橋すべてが取り除かれます。架橋以前から重要視されてきた川を隔てた交流。舟渡しから、初めての架橋、そして改修と、時代とともに変化してきた勝山橋の歴史をたどってみたいと思います。



▲昭和10年ごろの勝山橋



▲木橋時代の欄干
(教育委員会所蔵)

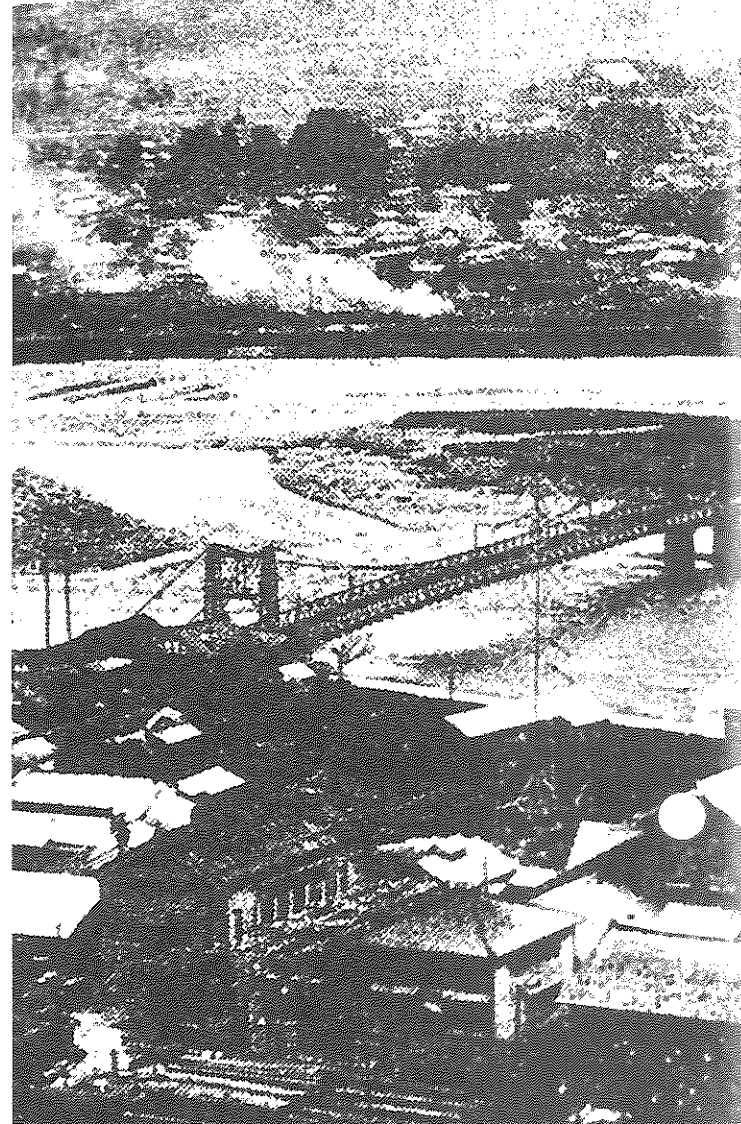


▲中島区にある『鵜の島の渡し』の標石

激流を越える舟渡し 人と物を運んだ

九頭竜川をはさんだ人馬・物資の往来は、江戸時代以来舟渡しによって行われていました。上流には平泉寺を開いた泰澄が渡ったという伝説が伝わる『宮の渡し』が、下流には福井との重要路として栄えた『小舟渡の渡し』、そして市街地と対岸の遅羽地区を結ぶ交通路として、中島―立石間の『鵜の島の渡し』と比島―長瀬間の『比島の渡し』があり、今では市指定文化財の標石が唯一、往時の姿を告げています。鹿谷や遅羽の人にとって『鵜の島の

渡し』は城下町に最も近く、鹿谷から蓬生、中島を通って勝山に至る勝鹿道の要路として重要視されてきました。明治になっても一日二百人ほどの利用客があり、そのほとんどが荷を背負った人たちだったようです。渡しの管理は遅羽村の各戸から白米や麦を集めることで村民は無料とし、一般からは舟賃一銭をとってまかなっていました。しかし当時、このあたりの九頭竜川は大きな石があるうえに流れが急で、川幅が広かったため、春の雪解けや梅雨の時期には出水するたびに交通が遮断し、不便を強いられていました。そして明治の後半、時代の流れとともに新しい交通路整備に向け、架橋の機運が高まってきました。



鉄道敷設計画で 進展した架橋事業

架橋運動は当初、勝山橋よりも小舟渡橋のほうが福井との重要路であることから先行して進められ、すでに明治四十年の県会で決定を受けていました。しかし明治四十一年十二月の県会では小舟渡架橋の原案が急ぎよ否決。同予算は以前より計画されていた鉄道（現在の京福電鉄越前本線）敷設補助にそっくり回されることになりました。

明治四十四年に鉄道建設が正式決定すると、必然的に勝山町から対岸への架橋がクローズアップされ、即座に県

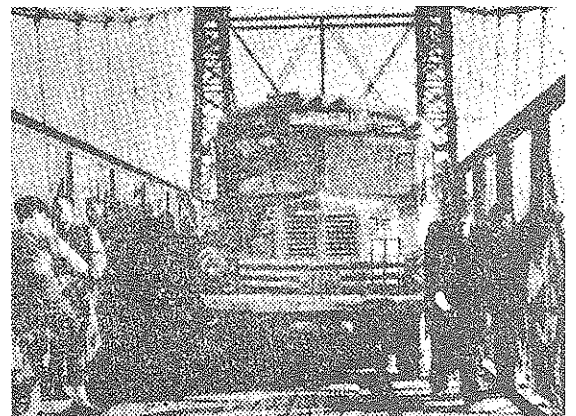
会で勝山橋架橋案が提出されることになりました。つまりそれまでどちらかといえば遅羽村や鹿谷村にとって重要であった架橋が、福井と直結する鉄道敷設によって、勝山町を中心とする地域にとっても大きな意味を持つようになったのです。

明治四十五年三月に鉄道工事が始まると、追隨して勝山橋建設も着工。橋の規模は勝山町側百十間（約二百メートル）が木橋、中央部十八間（約三メートル）がボーストリングトラス、比島側五十間（約九十メートル）が吊り橋という案でした。工事はつり橋部分の高さ百十メートル余りもある櫓の強度に関する問題や、洪水で流域幅が十間も広がるというアクセシビリティがあっ

たことなどから、完成を見たのは電気鉄道が開通した翌年、大正四年八月のことでした。

完成したつり橋は本県鋼鉄つり橋の元祖として注目されました。また、眼下には九頭竜川の激流が渦巻き、加越の山々を望む絶景の場所としても知られるようになりました。

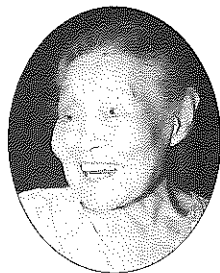
悲願の鉄道と勝山橋の完成は、勝山町のみならずその後の大野郡北部（現在の勝山市北部）の産業、経済の発展に計り知れない役割を果たすことになりました。



▲つり橋部分をバスが通る光景（昭和32年ごろ）

橋と重なる 戦争の思い出

今年、満百歳を迎えた
西村なつさん 〓 本町二 〓



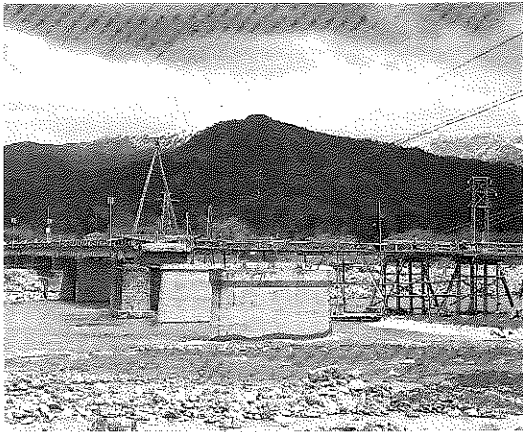
橋ができるまでは、遅羽と町の間で小舟が行き来していました。だいたい五、六人乗りだったでしょうか、船頭さんが長い竿で舟をこいでいました。私が結婚したところに姑さんに聞いた話では、それより以前、大清水のあたりから比島まで舟渡しがあった時代もあったようです。

勝山橋が初めて架けられたのは、ちょうど長女が生まれた年でした。橋にまつわる思い出といえば、どうしても戦争で亡くした長男のことと重なってしまいます。あのころ電車で戦地に向かう兵士を見送るため、たくさんの方が歌を歌いながら、勝山橋を渡りました。わが子にだけはそんな思いをさせたくないと願っていました。とうとうその日がやってきました。そして三か月の間毎週、鯖江の連隊にいる息子に会うために橋を渡って電車に乗ったものです。今では当時の面影はまったくありませんが...

二度の 架け替え工事

昭和に入ると頑強を誇っていた勝山橋も、風雪と九頭竜川の激流で痛みがひどく、自動車の通行量が増えたことも重なり、昭和九年に木橋の一部が流失してしまいました。勝山町はすぐに県へ新橋架設の意見書を提出し、とりあえず応急措置を施しましたが、その後事故が多発、コンクリート橋の建設が望まれました。昭和十二年十二月にようやく、それまでの木橋部分が二百四十一メートルのコンクリート橋として生まれ変わりました。

戦後になると今度はつり橋の痛みが激しく、積載料五トン以下の通行に制



▲つり橋部分の架け替え工事（昭和37年）

限をしました。昭和二十六年にワイヤーを補修した後も、傷みはひどく仮橋でしのいでいましたが、昭和三十四年の伊勢湾台風以降はその仮橋も増水のたびごとに流出を繰り返していました。そうして昭和三十五年につり橋部分

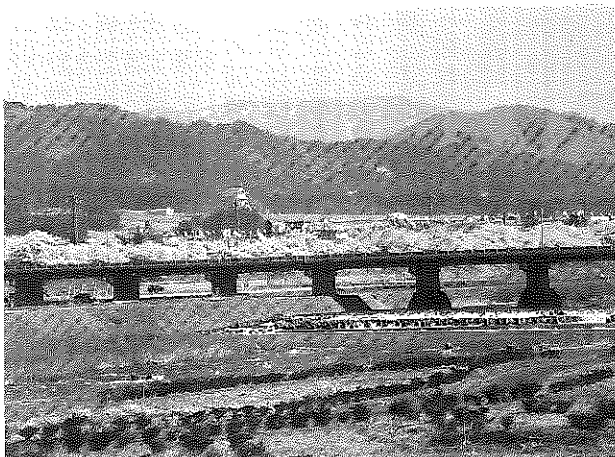
の架け替えが決定。同三十七年十二月、六十メートルのアーチ型鉄橋と三千メートルのコンクリート橋が完成し、長さ三百三十三メートル、全線二車線として利用できるようになりました。

変わり始めた 周辺環境

たくさんの方の恩恵をもたらしてきた九頭竜川は、一方では河川氾濫など、多くの災害を引き起こしてきました。昭和四十年代に入って、こうした水災害から流域住民を守り、併せて電源開発を進めようとするダム建設事業が開始。昭和四十三年、和泉村内に仏原ダム、鷺ダム、九頭竜ダムの三つのダムが竣工し、古来より暴れ川と言われてきた九頭竜川は、流量が調整されるようになりました。

ダムの完成とともに九頭竜川の流れも変わり、これに伴う橋周辺の河川整備が進められました。その反面、子どもたちの水泳場として親しまれてきた橋下流の『沈床』もなくなり、周辺の

弁天桜と いっしょに歩んだ 橋の歴史



▲満開の弁天桜がはえる勝山橋付近（平成6年）

九頭竜川の右岸、勝山橋をはさんだ約一・五キロメートルに植えられた桜の並木は、弁天桜として

県下に知られた名所となっていました。この起りは勝山橋が完成して数年後、大正の終わりごろ、当時の町長が約百本の苗木を植えたことに始まります。さらにその後、市橋定吉という人が、昭和の初めに名古屋から取り寄せた苗木五百本を植え、その後も自分の畑で苗木を育て続けました。市橋定吉さんは桜の苗木を植えた後も、油粕をやったりして一心に育てていました。

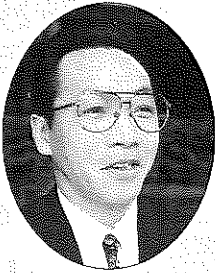
昭和八年ごろから堤防で花見が行われるようになり、以来、大きく育った桜並木は市民の憩いの場として親しまれてきました。

当時、勝山橋を渡る人たちは、九頭竜川の激しい流れと桜の花の優しさにコントラストを感じたといわれています。桜の木が初めて植えられてから約七十年余り、まさに年輪を重ねながら橋の歴史を見つめてきました。

今回の仮橋架設に当たっては、桜の木を極力伐採しないよう考慮されました。切っても切れない橋と桜の縁が、今も伝えられています。

国体旗を先導して勝山橋を渡った

竹内秀光さん(46) =大渡=

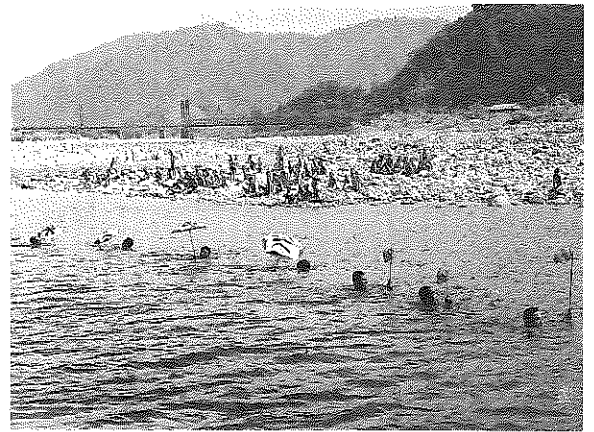


昭和43年5月福井国体旗県下リレーリハーサル(右が竹内さん)

勝高時代には陸上の長距離をやっていました。ちょうどその頃は福井国体を迎える時期と重なり、学校も

環境は一変しました。昭和四十七年には橋そばの河川敷を公園緑地として整備することが都市計画決定し、昭和五十七年から市民のスポーツ・レクリエーション施設として利用できるようになりました。

周辺環境が変わる中、この七月まで利用されてきた勝山橋は、補強工事のほか歩道部分の取り付け工事など、部分的に整備されつつ、約五十八年余り(アーチ部分は三十二年余り)の間、昭和三十四年の伊勢湾台風や同四十年の風水害にも耐え、私たちの生活を守ってきました。

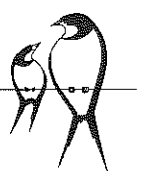


▲九頭竜川で泳ぐ子どもたち。左後方は勝山橋(昭和30年)

市民も一丸となって大会を盛り上げようという機運で溢れていました。そんな中において、国体旗のリレーの先導という役を受けることができました。私はちょうど、今回取り壊されている勝山橋を挟んだ約二キロを走ったと思います。

また当時は繊維企業全盛期で、東北や九州からたくさんの人たちが働きに来ていました。その人たちがとって勝山橋は、駅を降りて市内に入る、いわば気持ちを切り替えるところだったんじゃないでしょうか。生まれ育ったふるさとを離れ、新しい土地で働く、いろんな思いがこの橋に詰まっているような気がします。

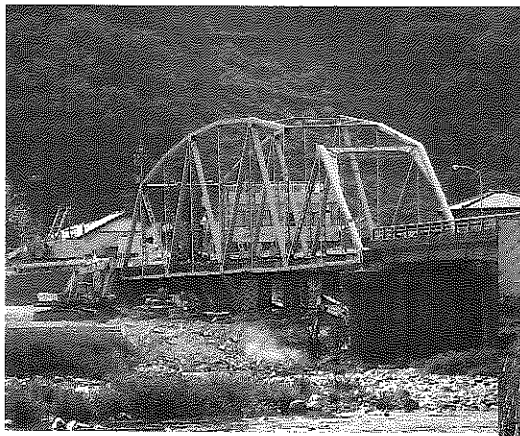
さよなら旧勝山橋 ツバメの巣立ちを待つて取り壊し



七月三十日、役目を終えた勝山橋の取り壊し作業が、仮橋完成を待つて始められました。しかし橋の下に作られた巢の中でツバメの子どもたちが育っていることから、一部の工事を遅らせることになりました。

近年春になると、飛来した岩ツバメが、勝山橋のコンクリート製橋脚の付け根部分に巣を作って子育てをしていました。

作られた巢の数は十数個にもなり、これまでに



▲取り壊される旧勝山橋(8月上旬)

▲勝山橋の橋脚に作られたツバメの巣

たくさんの方が巣立っています。今年は、最後の巣立ちが「八月に入ってからになりそう」という判断から、市街地側のコンクリート部分の本格的な取り壊し時期をずらすことになりました。県自然保護センターは八月一日に一羽のひながいることを確認。八月九日に、ようやく巣立ったことを見届けてから、本格的な作業に入りました。

桜の木と同様、自然に優しい工事を進める本事業の象徴ともいえる出来事でした。

現在進められている取り壊し作業は来年三月ごろまでに終え、十月ごろから並行して夢の新橋完成に向けて工事が始められます。

完成予定は西暦二〇〇〇年(平成十二年)。二十一世紀の夜明けとともに完成する橋もまた、私たちに新たな思い出と歴史を作ってくれることでしょう。

参考文献 大野都史、勝山市史第一巻「風土と歴史」・第三巻「近代現代」ほか

平成8年度 勝山市表彰

地域貢献の個人12人、3団体

市政施行記念日の九月一日、教育福祉会館で勝山市表彰式が開催されました。

表彰式には地方自治、産業、教育、社会福祉、環境衛生、消防の受賞者、個人十二人、三団体の代表者が出席しました。

受賞者は次の皆さんです。(敬称略、順序は不同です)



地方自治功勞

久保正剛(70) 立川町二

長年にわたり、区長、さらには市区長連合会長などの要職を務め、地域住民の福祉の増進と地方自治の振興発展に寄与されました。

玉木次也(76) 松ヶ崎

長年にわたり、区長、さらには市区長連合会理事などの要職を務め、地域住民の福祉の増進と地方自治の振興発展に寄与されました。

産業功勞

梅田治右衛門(74) 平泉寺

長年にわたり、農業協同組合理事、専務理事として農業行政の振興発展に尽力し、農業経営の基盤づくりに寄与されました。

澤瀬徳松(74) 深谷

出口一男(70) 竜谷

お二人は、北部土地改良区設立時より、長年、理事として土地改良事業の推進に尽力し、土地改良区の運営に寄与されました。

玉木成信(69) 松ヶ崎

長年、農家組合長、酒米組合役員として、農業行政の推進と地域農業の振興発展に寄与されました。

木下文雄(58) 元町一

山内 榮(69) 元町二

お二人は、商工会議所議員として、長きにわたりその要職を務め、市の商工業の発展と地域振興に寄与されました。

寺尾生産組合

昭和51年に組合を設立後、集団転作の定着化、周年体系の確立、機械化作業の受託推進など地域ぐるみの農業経営の改善に務められました。

教育功勞

山本榮一(65) 芳野町一

長年にわたり、社会教育委員

を務め、さらには生涯学習推進会議会長として当市社会教育の充実発展に寄与されました。

社会福祉功勞

多田はくゑ(69) 新保

聴力障害者との手話学習による文化的情報の提供や、手話通訳者としての幅広い活動により社会福祉の増進に貢献されました。

元町二丁目婦人会

長年、心身障害者福祉施設の通園生との交流を続け、さらには地域づくりに取り組むなど社会福祉の増進に貢献されました。

環境衛生功勞

勝山市連合婦人会

長年にわたり、牛乳パック回収運動を続け、ごみの減量化と合わせ、資源リサイクルに尽力されました。

消防功勞

田中弘喜(60) 東野

藤澤勲一(60) 竜谷

お二人は、長年にわたり、消防団員として献身的な活動により防火思想の普及、災害防止に務め、市民生活の安全に寄与されました。

会社も、お店も、学校も、病院も。

事業所・企業

統計調査

平成8年10月1日(火)

9月下旬から調査員がお伺いします。

総務庁統計局 福井県

9月は

障害者雇用促進月間です

障害者の雇用促進と職業の安定のために、事業主の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



▲平成2年から7年間続けてきた七福神道中の最後のパレード。一つの船に7人の神様が乗り込み、福袋を大盤振る舞い。

さよなら七福神道中

夏 かつやま まつり
 8/12・13・14
 カメラ スケッチ 



▲今人気の3on3バスケットに34チームが参加。今年からの新企画に、女性応援団も駆け付け、暑さを忘れて次々とゴールを決めていました。

中学生に人気
 チャマゴンスカップ 3on3



大仏背に踊りの輪

▲ふるさとの踊り大会は、大仏駐車場と元禄通りで2日間に分けて開催。照明で浮かび上がった大仏を背に浴衣姿の大きな踊りの輪が広がりました。

祭だ、ワッショイ



▲かわいい子どもみこしもハッスル。みんなで作ったみこしをかつぐ姿に、沿道から声援が送られていました。



夏まつり実感!



▲2日遅れの花火大会にもかかわらず、6,500人の観衆が訪れました。

HOT

ホット話題

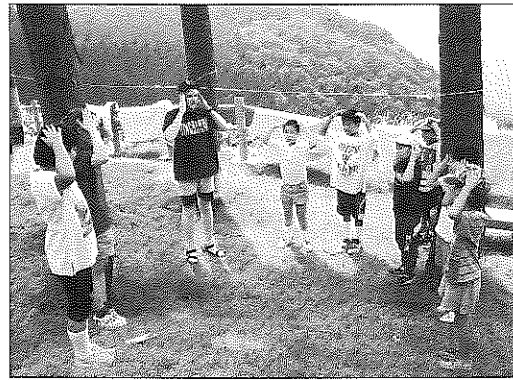


大師山たいまつ登山が8月13日に行われ、親子づれなど約200人の市民が参加しました。

公園でじゅうぶんに準備体操をしてから出発。一人ひとりがたいまつを持ち、細く急な山道を励まし合いながら登っていきました。途中、夕暮れと市街地の夜景に見入ることも。長い列になって続くたいまつの明かりが地面や木々に映えて、幻想的な雰囲気を作り出していました。

約1時間で頂上に到着。猪野瀬青年会による抽選会が行われ、子どもたちの一喜一憂する元気な声で山頂はいっぱいになりました。

かつやまの夜をながめながら
大師山たいまつ登山



8月20日、市内の小学校4・5・6年生を対象にした、アメリカンスタイルのサマーキャンプが開催されました。指導に当たったのは、市国際交流員のキャロライン・シェルトンさんと、南部中学校で英語指導をしているレイ・ハンソンさんら5人。

英語を交えた歌やゲームに、最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちもすぐに慣れ、歓声を上げて楽しんでいました。友達といっしょに参加したという藤村昌央君(成器南小6年)は、「キャンプファイヤーの“マシュマロ焼”が楽しかった。もっと英語の勉強をしたい」と、アメリカへの興味を膨らませていました。

アメリカに夢膨らませ
小学生国際交流キャンプ



村岡公民館は8月20日、地域の子どもたちに福祉に対する理解を深めてもらおうと、体験教室を開催しました。

これは、毎年行っている『夏休み子どもチャレンジ教室』の一貫として開いたもので、学年を越えた仲間が様々な活動を通して体験学習をする、人気行事です。

参加した約20人の子どもたちにとって、車椅子や点字、アイマスクは、どれも初めての経験でした。「目の不自由な人たちは点字を読むのがたいへん」「車椅子を押すのはむずかしかった」と話し、それぞれが障害をもつ人たちの気持ちを感じとっていました。

子どもたちが福祉体験
公民館チャレンジ教室

生き生きかっちゃま
'96スポーツフェスティバル
体験しよう！スポーツの楽しさ

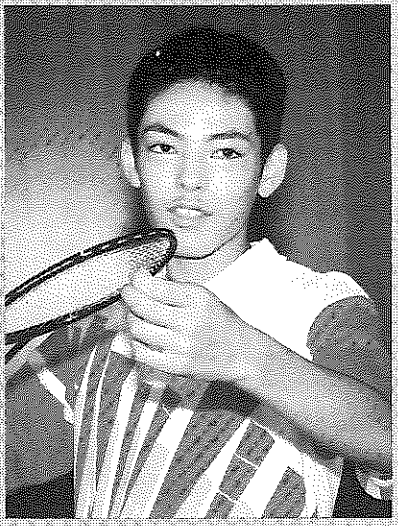
10月10日(木)
開催時間 午前9時30分
会場 勝山市弁天グラウンド

折り込みチラシをご覧ください。

スタンプラリー
抽選会
今年も実施

青春 I N G

113



バドミントン全国大会に出場

多田亮太君 (14) 郡町三 中部中学校 3年生

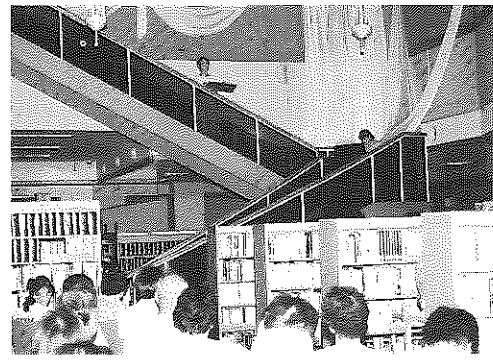
多田亮太君は、このほど行われた全国中学校バドミントン大会に北信越代表として出場しました。亮太君にとって全国大会は初めての経験。「勝てるかどうかとすごく緊張した。一回戦を勝つことができてよかった」と話します。

「今まで取れなかった球を取れるようになると、プレーが続き、たくさんの技ができる。それがバドミントンの楽しさであり、やりがいのあるところ」と言う亮太君。「大人になっても

バドミントンを続けたい、いつまでも自分の夢を追い続けていきたい」と照れながら将来の抱負を語ります。

学校では、休み時間に友達と遊ぶことが楽しい亮太君の一番得意な科目は数学。また、歴史の本をよく読むという一面も。休日には、走ったりフットワークをするなど軽い運動を欠かしません。

尊敬する人物は「父親」で、理由は、人だけではなく自分にも厳しい点だとか。5人家族。



8/31(土)

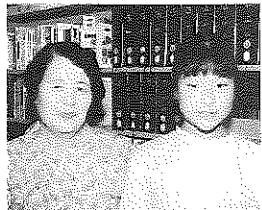
なつかしい歌に思い出ひろがる ふれあいファミリーコンサート

ふれあいファミリーコンサートが市立図書館において行われ、市民ら一五〇人が、懐かしい歌に聞き入りました。

演奏終了後、細野恭子さん(71) 旭町二と孫の佑貴さん(11)にインタビュ。

「今日このコンサートに来たきっかけは、

恭子さん 童謡の会に入っているの。これで二回目になります。知っている歌はありましたか。」



細野恭子さん (左) 佑貴さん

佑貴さん 「鯉のぼり」など学校で習った歌がいくつもありました。

「コンサートの感想は、佑貴さん 中でも二重唱がとてもよかったです。

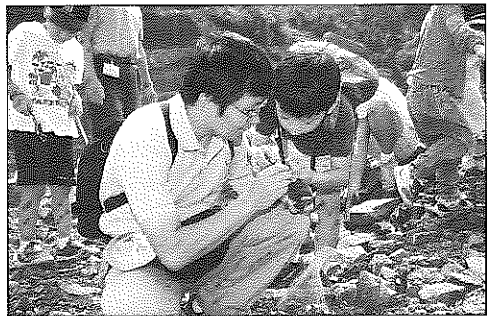
恭子さん 本当に上手できれいな声ですね。勝山の子どもたちがこのような童謡を知って育ってくれたらうれしいと思います。」



長寿のお年寄り慶祝慰問

『敬老の日』を前にした9月3日・4日の両日、今年88歳を迎えるお年寄りと95歳以上のお年寄りのお宅を今井市長が訪問し、長寿を祝いました。

1月に101歳を迎えた市内最高齢の白野きよさん=さくら荘=は、市長から「まだまだがんばって長生きしてくださいね」と声をかけられると、「ありがとうございます。皆さんのおかげで…」と手を合わせて感謝。職員からも「よかったですね」と祝福を受けていました。

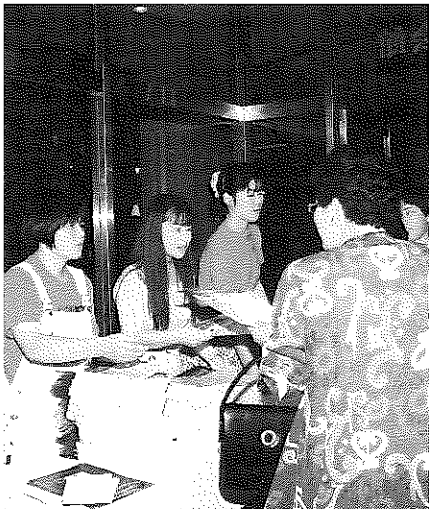


親子で九頭竜テラル冒険の旅 “わくわく化石発掘体験”

「ふくい九頭竜テラル冒険の旅」に参加した関西地方の親子 120人と県内外の親子20人が、北谷の恐竜化石発掘現場で発掘体験に挑戦しました。

子どもたちはハンマーで石を注意深く砕き、ルーペを手に化石がないかじっくりと観察。見つけるとわくわくした様子で調査員のところへ飛んで行き、説明を求めていました。貝やシダなどの植物化石が多く、中には魚の骨を発見した子も。「夏の自由研究に」「思い出に」と、たくさんの化石を持ち帰りました。

▶かつやま音楽協会のメンバーは
様々な場面で大活躍。



▶聴衆はロマン漂う演奏に聞き入り、
大きな拍手を送りました。



コロラドからの 贈り物 '96かつやま-アスペン ミュージックフェスティバル

今年で6回目となるかつやま-アスペンミュージックフェスティバルが、8月24日から28日にかけて開催されました。これまでの音楽祭にボランティアとして活動していた市民が中心となって結成した「かつやま音楽交流協会」が主催。企画や裏方として活躍し、音楽祭を支えていました。市民を魅了したコンサートはもちろんのこと、市民合唱団に高校の男子学生が加わるなど、音楽祭に参加する市民が増えました。

▶公開指導では聴講生も熱心に耳を傾けていました。



▶高校生が加わり、団員数が充実した市民合唱団。



われら仲間



広がる青少年交流 高校生アスペン訪問

七月十九日から八月二日まで、市内の高校生五人と中学校の英語教諭二人が、ホームステイ交流事業により、友好都市アスペン市に九日間滞在しました。参加者らは野外活動や学校訪問などを通して、ホストファミリーとの交流を深め、アスペンの生活と自然を体験しました。

両市の青少年交流事業は、昨年アスペン市の中学生が勝山市に滞在したのが初めてで、今年には勝山市から派遣することになりました。参加者したのは大久保千恵さん（勝高三年）、久保



▶アスペンマウンテン頂上にて

「再びアスペンに行ったとき、私はアスペンで出会った人たちのような素敵な笑顔ができるだろうか。アスペンの自然、アスペンの人々はあなた自身を優しい人に変えてくれる。ぜひ、一度はあなたの目でアスペンを見てきてほしい」

「帰国の前の日、さよならパーティーで参加した高校生五人で日本の踊りをしました。最後にみんなの顔を見ながら『もみじ』を歌うと、いろんなことが思い出されて涙が止まらなくなってしまうました」

|| キャロライン・シュルトン ||

情

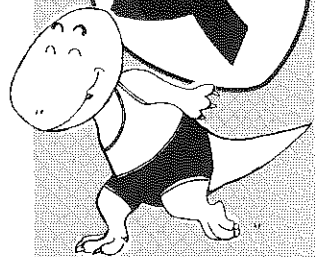
報

ボ

ツ

ク

ス



健社 保福

契約・遺言は公正証書で

10月1日〜7日は公正証書週間

公正証書は、裁判などで強い証拠力があります。

公証役場では、法律実務の専門家である公証人が、公平な立場から、親切に指導しながら証書を作成します。

金銭の賃貸、不動産の売買、交通事故の損害賠償など重要な契約や遺言は、公正証書にしておくとう安心です。

期間中、公証役場において無料で相談に応じます。秘密は厳守します。土、日曜日も行います。気軽にご相談ください。

問合先▽〒911 福井市中央3-1-14三谷ビル別館3階 福井公証人合同役場(☎0776-22-1584)

10月1日は「法の日」

無料登記法律相談

日時▽10月1日(火)

午前10時〜午後4時

場所▽勝山商工会館

相談内容

◇土地・建物の売買、贈与、相続など不動産の権利に関する登記のこと

◇建物の新築、増築、取壊し、土地の合筆、分筆、地目変更、境界確認など不動産の表示に関する登記のこと

◇訴状、支払命令、差押、競売など裁判所へ提出する書類の作成に関することなど

国民健康保険証

10月1日に更新します

新しい国民健康保険証を九月末までに被保険者に郵送します。一般はさくら色、退職者はうす水色です。

旧保険証は、保健衛生課若しくは最寄りの公民館へお返しください。

保険税の納付はお済みですか 保険税を納付しない場合、保

険証に代わり、資格証明書が発行されることがあります。この場合、医療費は全額自己負担になりますので、保険税を忘れずに納付してください。

問合先▽保健衛生課国民健康保険係(☎88-1111内線266番)

入院中の食事が変わります

健康保険法、老人保健法の改正により、平成8年10月1日から、入院中の1日にかかる本人の食事が変わります。

変更後の額は次のとおりになります。

		変更前	変更後
一般加入者		1日 600円	760円
減額認定世帯	住民税非課税世帯	90日までの入院 1日 450円	650円
	世帯	90日を超える入院 1日 300円	500円
	世帯で受けているか	住民税非課税世帯で老齢福祉年金を受けているか 1日 200円	300円

問合先▽保健衛生課国民健康保険係(☎88-1111内線266番)

ワンポイント情報

学生も20歳になったら国民年金に加入します



■どうして学生なのに加入するの？

卒業してから保険料を納め始めても、60歳になったとき、満額の老齢基礎年金は受けられません。また、在学中に万が一、けがや病気で障害者になっても障害年金が受けられないといったことをなくすためです。

■学生の免除制度

学生には一般に所得がないので、保険料は親が納める場合が

ほとんどです。そこで、親の負担が過大にならないよう、親の所得によって保険料が免除されます。具体的には、親と同居か別居か、国公立か私立大学か、学生の家族がいるかによって、免除の所得基準額が変わります。

■保険料の追納

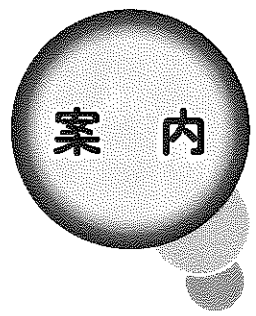
免除を受けた期間の保険料を後で納める場合は、10年前までさかのぼって納められます。

ただし、昭和61年4月1日以降に免除を受けた人とそうでない人の負担の公平を図るため、当時の保険料に若干の加算がつけます。

■免除を受けた期間の取り扱い
①資格期間(25年)に含まれます。

②その期間の年金額は、保険料を納めた場合の3分の1の金額になります。

詳しくは、市民課年金係まで。
(☎88-1111内線254番)



案内

教育福祉会館で

行政相談所を開設

10月13日からの「行政相談週間」にちなんで、行政相談所を開設します。

役所に関する苦情や要望のほか疑問に思っていることはありませんか。総務庁長官から委嘱された行政相談委員が行政とのパイプ役となってご相談に応じます。

日時▽10月16日(水)

午前9時から午後1時
場所▽教育福祉会館

料 金▽無料

相談員▽横山茂男さん(元町二)▽深谷久枝さん(元町一)

問合せ▽秘書広報課広報係(☎88-1111内線214・215番)

保育講演会

日時▽9月30日(月)

午後6時50分から

会場▽教育福祉会館大ホール
テーマ▽「家族愛について」

講師▽古屋 和雄氏

(NHK大阪放送局チーフアナウンサー)

対象▽乳幼児をもつ保護者、一般市民のかた

入場料▽無料。入場整理券を福祉事務所、各保育所(園)でお求めください。

問合せ▽福祉事務所児童係(☎88-1111内線504番)

みんなで考えよう奥越の水

ドラゴンリバー交流会

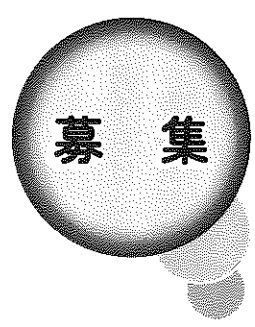
九頭竜川水系を軸とした交流によって、自然と人との共生、豊かで活力ある地域環境づくりを目指しています。皆様の参加をお待ちしています。

日時▽10月5日(土)

13時30分～16時

場所▽勝山市民会館ホール
参加対象▽自由、当日受付。

問合せ▽企画課企画調整係(☎88-1111内線232番)



募集

県政バス「芸術文化号」

参加者募集

日時▽10月25日(金)

市役所前 午前8時30分出発

(雨天時も実施)

コース▽サンドーム福井、パピルスと紙の里会館、国際交流会館(仮称)。

対象▽16才以上で団体行動に支障のない個人。

参加料▽大人¥650円。

定員▽勝山、大野市で52人。

(先着順ですが、初参加者を優先します。)

返信用ハガキで通知します。

持ち物▽昼食、水筒、筆記用具。

申込・問合せ▽往復ハガキ(一人につき一枚)に住友、氏名、年齢、電話番号、出発日、乗車地を書いて〒910-0180県庁広報課県民相談室(☎0776-21-1111代)あて。

国際交流サロン

参加者募集

国際関係についての話し合いや交流事業の企画など、楽しく国際交流を深めましょう。日本語で話し合いますので英語が分からなくても大丈夫です。

日時▽10月9日(水)より毎月第2、4水曜日に行います。

午前10時～11時30分

平成9年6月までを予定。

場所▽市民会館第2会議室

申込・問合せ▽企画課国際交流

女性対策係(☎88-1111内線235番)

「O-157」の相談窓口を開設

気軽に「相談ください」

病原性大腸菌「O-157」による感染症が全国的に広がっています。「O-157」について次のとおり相談窓口を開設していますので、ご利用ください。

相談先▽勝山保健所保健予防課(☎88-0359)、市役所保健衛生課(☎88-1111内線262・263番)
受付時間▽平日午前8時30分～午後5時
※なお、保健所では井戸水の検査・検便に応じています。希望のかたは前もって保健所に連絡してください。

予防策1

食べ物はいゅうぶんに洗い加熱してから食べる



予防策4

調理後できるだけ早く食べる

予防策5

調理中は直接手で食材に触れない



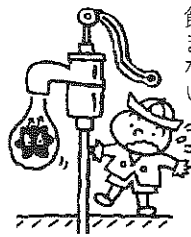
予防策6

日ごろから手をよく洗い、消毒する習慣を身につける



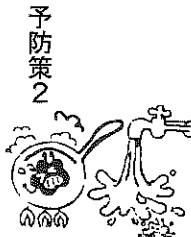
調理器具は食材ごとに熱湯消毒する

予防策3



井戸水などの生水は飲まない

予防策2



O-157 予防策

ホームヘルパー養成研修(3級)

受講者募集

期 間▽11月9日(土)開講
平成9年1月まで10回
会 場▽勝山市教育福祉会館、
大野有終会館

内 容▽講義、実技。

対象者▽ホームヘルパーになり
たいと思っているかた、また
住宅ケアボランティアとして
活動を希望するかた。

受講料▽1000円。テキスト
代は自己負担となります。
定 員▽約50人。

申込締切▽10月11日(金)
申込・問合せ▽市社会福祉協議会
(☎88-1111内線530番)

熱きエネルギー結集の場

勝山4時間耐久自転車レース

日 時▽11月17日(日)
場 所▽雁が原スキー場駐車場
参加資格▽高校生以上のかた
参加費▽3,000円

表 彰▽優勝(賞金5万円)、
準優勝、第3位、特別賞。

副賞として賞金があります。
完走賞、参加賞あり。

チーム構成▽ライダー2人、ア
シスタント1人。女性には、
ハンディキャップがあります。
募集チーム数▽25チーム

そのほか▽使用自転車は、前か
ご付きで変速機能なしの市販
自転車。1チームにつき自転

車2台まで。

締切り▽10月11日(金)

申込・問合せ▽勝山市青年団体
連絡会(勝山4時間耐久自転
車レース)事務局(☎88-1
111内線482番)

奥越ピギオーステニス大会

参加者募集

日 時▽9月22日(日)

午前8時30分から受付

会 場▽奥越ふれあい公園
種 目▽ダブルス

参加料▽1ペア2000円(当
日持参)

参加資格▽勝山市、大野市、和
泉村に在住・勤務する人。高
校1年生は参加可能。

申込期限▽9月18日(水)必着
申込方法▽住所、氏名、年齢、
所属団体、電話番号を明記し
て郵送または電話で。

申込・問合せ▽市教育委員会体
育課(〒911勝山市元町1
1-1 ☎88-1111内
線491番)

普通救命資格講習

《日 時》9月29日(日)
《場 所》勝山市消防署
《内 容》心肺蘇生法、止血
法、骨折などの固定法
《申込・問合せ先》
勝山市消防署
(☎88-0400)

求人情報 9

(8月20日現在)

No.	職 種	求人数	年齢	賃 金	事業所・勤務地
1	測量技術者	不問 2人	25 ~35	191,000円 ~320,000	大和興業(株) 大栄町2丁目
2	警 備 員	男 1人	30 ~60	180,000 ~200,000	相和管理(株) 片瀬町2丁目
3	自 動 機 オペレーター	男 2人	18 ~35	130,000 ~175,000	御岩佐電機製作所 滝波町4丁目
4	編立見廻り	男 2人	16 ~45	178,000	新 興 鹿谷町本郷
5	印刷・製本	男 1人	18 ~35	170,000 ~250,000	マツイ印刷(株) 郡町1丁目
6	理学療法士	不問 1人	不問	240,000	たけとう病院 野向町聖院丸
7	事務・接遇	女 1人	35 ~48	124,800	観 山 北郷町東野
8	製 造	不問 5人	40 ~55	150,000 ~250,000	昭和食品(株) 野 猪
9	デザイン パタンナー	女 1人	20 ~40	130,000 ~140,000	勝山衣料(株) 旭町1丁目
10	販売・レジ	男3人 女3人	18 ~40	145,000 ~280,000	(株)中吉商店 本町1丁目

くわしくはハローワーク勝山(☎88-1286)へ。

消費者コーナー

みなさんへ注意を!

こんな被害が
起きています

①健康食品による症状の悪化

クロレラなど健康食品の飲食
によりしっしんや下痢、吐き気・
嘔吐などが起こり、身体の異常
を販売員に訴えると「体内の毒
素が出ている」「好転反応」だ
から飲用を続けるように言われ
ることが多くあります。しかし、
体質に合わないものの飲食を続
けて、かえって症状を悪化させ、
入院したケースも数多く報告さ
れています。

②家庭訪問販売での
学習教材トラブル

家庭教師を派遣すると電話で
勧誘し、来訪を承諾すると長時
間にわたり執拗に勧誘し、高額・
過量な教材を契約させられる相
談が増加しています。

③住宅に関連する相談の増加

建売住宅や新築請負工事の契
約トラブル、住宅の工事がずさ
ずであるという相談や家庭訪問
販売での増改築・屋根・壁工事
が高額であるなどの解決困難な
住宅をめぐる相談が多くなっ
ています。

こうしたトラブルについて、
お気軽にご相談ください。

《問合せ先》

消費者センター(企画課内)
☎88-1111内線233番

ふくいゆとりフェスタ'96 開催

～新しい自分発見してみませんか～

日時 9月28日(土)～10月1日(火)

会場 福井県産業会館
ユー・アイふくい
(福井県生活学習館)

内容 余暇活動の発表と展示、相談指導、インターネット体験、チャレランコーナー、交流の場など。

9/28(土) コーラスとマーチング

9/29(日) 童謡歌う会大集合

問合せ先 福井県生活文化課文化・ボランティア係
(☎0776-21-1111内線2412、2411番)

お知らせ

井戸水の使用にご注意ください

7～8月に勝山保健所でおこなった持ち込み検査で、市内の井戸水から高い割合で大腸菌が検出されています。検査を受けていない家庭は、極力井戸水の飲用は控えてください。もし水質検査を希望されるかたは、勝山保健所で受け付けていますので、お問い合わせください。

《対策》

○市の上水道を利用できるお宅は、上水道をご利用ください。

○井戸水のお宅は、煮沸または滅菌してから使用しましょう。

問合せ先 保健衛生課環境衛生係 (☎88-1111内線264番) または、勝山保健所 (☎88-0359) へ。

新・旧大用水の減水のお知らせ

新・旧大用水は、猪野地係等の工事のため、10月1日(火)から11月30日(土)まで、減水となります。問合せ先 農務課耕地係 (☎88-1111内線284番)

秋季消防演習

とき 10月13日(日)

ところ 北谷町谷地区

*演習開始に合わせてサイレンを鳴らします。火災と間違わないようご注意ください。

保健ガイド



赤ちゃんコーナー

●1歳半児健康診査

日時 9月27日(金) 13:20～13:40

場所 教育福祉会館

対象 平成7年3月生まれ

●3歳児健康診査

日時 10月4日(金) 13:00～14:00

場所 勝山保健所

対象 平成5月9月生まれ

●ほのほの子育て教室

日時 9月17日(火)、10月15日(火)
13:30～15:30

場所 勝山保健所

対象 1～3カ月児の保護者

料金 無料。母子健康手帳を持参。



成人コーナー

●機能訓練事業

日時 9月19日(木)、9月26日(木)
10月3日(木)、10月17日(木)
13:30～15:00

場所 教育福祉会館

●健康体操教室

日時 9月20日(金)、9月27日(金)
10月11日(金)、10月18日(金)
9:00～10:00

場所 教育福祉会館

●勝山成器断酒会例会

日時 9月22日(日)、10月13日(日)
13:00～15:00

場所 教育福祉会館

9・10月の健康診査

(10月15日まで)

健康診査を希望する人は、事前に保健衛生課へ申し込みをするか、直接会場へ来てください。大腸ガン検診を希望される方は指定の容器があります。

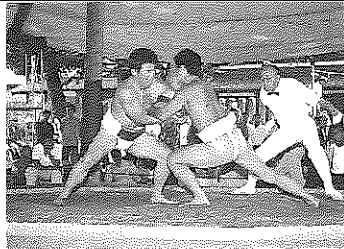
2月に行ったアンケートで検診を希望された人には個人通知が送られます。

問合せ先：保健衛生課健康増進係

(☎88-1111 内線262・263番)

胸部レントゲン	100円
成人病	1,000円
胃がん	800円
大腸がん	400円
子宮がん	500円
乳がん	200円

会場	健診日	受付時間	胸部レントゲン	成人病	胃・大腸がん	子宮・乳がん
西児童センター	9月24日(火)	9:00～11:00	●	●		
栃神谷公民館	9月24日(火)	13:30～13:50	●			
寺尾ふれあい会館	9月24日(火)	14:00～14:20	●			
浄土寺公民館	9月24日(火)	14:30～14:50	●			
村岡公民館	9月25日(水)	8:00～10:30			●	
		13:30～15:00				●
	9月26日(木)	9:00～11:00	●	●		
黒原道場	9月26日(木)	15:10～15:20	●	●		
		13:30～14:00	●	●		
村岡公民館	9月30日(月)	8:00～10:30			●	
		13:30～14:00				●
	10月1日(火)	9:00～11:00	●	●		
西児童センター	10月2日(水)	9:00～11:00	●	●		
		13:30～14:00	●	●		
下荒井公民館	10月2日(水)	13:30～13:50	●			
千代田公民館	10月2日(水)	14:00～14:20	●			
比島公民館	10月2日(水)	14:30～14:40	●			
西児童センター	10月3日(木)	8:30～10:30			●	
		13:30～14:00				●
鹿谷公民館	10月14日(月)	8:00～10:30			●	
		13:30～14:00				●
	10月15日(火)	9:00～11:00	●	●		
矢戸口公民館	10月15日(火)	11:10～11:20	●			
鹿谷公民館	10月15日(火)	13:30～15:00	●	●		
西児童センター	10月15日(火)	15:10～15:20	●			

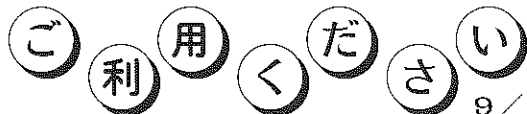


9						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

○は広報発行日、□は家庭の日、...は祝日(または振替休日)。

定 例 相 談



相談名	相談日	会場・問合先	内 容
法律・年金・労務相談 (第1水曜日)	10月2日(水) 9:00~13:00	教育福祉会館 ☎88-1111 内線531番	弁護士・社会保険労務士による法律相談
くらしの相談 (第1水曜日)	10月2日(水) 9:00~13:00	教育福祉会館 ☎88-1111 内線233番	消費生活に関する相談
心配ごと相談	毎週月から金曜日 9:00~17:00	教育福祉会館 ☎88-1111 内線531番	家庭問題など生活上の悩み 水曜日のみ18:00~20:00まで受け付けます。
介護相談	毎週金曜日 10:00~15:00	教育福祉会館 ☎88-1111 内線531番	介護アドバイザーによる相談
巡回行政・人権相談 (第2水曜日)	10月9日(水) 13:30~15:30	遅羽公民館 ☎88-1111 内線214番	人権問題や行政への要望や苦情など (子どもの人権相談併設)
人権・行政相談登記相談 (第3水曜日)	9月18日(水) 9:00~13:00	教育福祉会館 ☎88-1111 内線214・222番	人権問題や行政への要望や苦情・子どもの人権相談など。登記に関すること。
交通事故相談 (第3水曜日)	9月18日(水) 10:00~15:00	教育福祉会館 ☎88-1111 内線227番	交通事故によるトラブルなど
社会保険相談 (第3水曜日)	9月18日(水) 10:00~15:00	勝山商工会館 ☎88-1111 内線254番	社会保険に関する相談
結婚相談 (第1・3金曜日)	9月20日(金) 10月4日(金) 10:00~15:00	教育福祉会館 ☎88-1111 内線531番	結婚に関する悩みごとなど
補聴器相談	9月30日(月) 13:30~15:00	教育福祉会館 ☎88-1111 内線503番	補聴器の修理や購入について
小・中・高校生と親の悩みごと相談	毎週月から金曜日 9:00~16:00	教育福祉会館 (青少年室) ☎88-1111内線509番	あらかじめ電話で予約してください
中小企業労働相談	毎週月・火・木・金曜日 9:00~16:30 毎週水曜日 13:00~17:00	奥越合同庁舎 ☎65-1280 内線252番	仕事上での悩みなど
一般健康相談	毎週水・木曜日 13:00~14:30	勝山保健所 ☎88-0359	健康に関するあらゆる問題
母子健康相談 (第2金曜日)	10月11日(金) 13:00~14:30	勝山保健所 ☎88-0359	医師、保健婦、栄養士による乳幼児健康相談 (母子健康手帳、50円)
老人・精神保健相談 (第1・3水曜日)	10月2日(水) 14:00~15:00	勝山保健所 ☎88-0359	予約制
エイズ相談 (第2・4月曜日)	10月14日(月) 13:00~15:00	勝山保健所 ☎88-0359	

10月 家庭の日推進テーマ

スポーツを楽しみ、
よい本に親しもう

● 休日・祝日救急当番医

診療時間は、9:00~17:00まで

9/22 (日)	竹下医院	88-0405
9/23 (月)	石川医院	89-1008
9/29 (日)	芳野医院	88-2005
10/6 (日)	竹下中央内科医院	88-1121
10/10 (木)	木下病院	87-3333
10/13 (日)	深谷病院	88-0011

問い合わせは消防署 (☎88-0400) へ。

● テレホンサービス

火災発生の問い合わせ☎88-5100 (テープ吹き込み)
ヤングテレホン☎88-1004 (直通)
毎週月から金曜日9:00~16:00まで受付

+ 献 血

10/9 (水) 勝山病院 10:00~16:00

市立図書館から

☎88-6000

● アニメ上映会

9/22 (日) 13:30~

10/13 (日) 13:30~

● おはなしでてこい

紙芝居と絵本の読み聞かせ会

10/12 (土) 14:00~14:45



人口の動き

(8月1日現在)

男	14,393人	(前月比 ±0人)
女	15,371人	(前月比 -13人)
計	29,764人	(前月比 -13人)
世帯数	7,864世帯	(前月比 -3)

国民健康保険税 2期

9月30日 (月)

今月の納税

『走れ京福電車』

昨年を上回る実績

4〜7月の電車利用

京福電鉄のまとめによると、今年四月から七月までの電車の利用状況は、東古市・勝山間の輸送で三・五%、旅客収入で四・五%の伸びを不し、市民運動の成果が確実に現れているという結果が出されました。しかし京福線全体では、いずれもマイナス

実績となっており、市では今後沿線三市町村だけでなく、福井市や松岡町はもろろ三市町村など関係市町村全体の取り組みも呼び掛けながら、強力に存続運動を推進していくことにしています。

今後とも市民の皆さんの積極的なご協力をお願いいたします。

月別輸送人員比較

	4月	5月	6月	7月	合計
7年W	59,138	60,084	58,247	51,153	228,622
8年W	61,549	61,015	61,055	53,012	236,631
増減率	104.1	101.5	104.8	103.6	103.5



納涼電車でカンパライ

電車活用に新アイデア

八月十日、京福電車を利用した『納涼電車』が運行。約八十人の乗客は、用意されたビールにのどをならし、連日の暑さを吹き飛ばしていました。

これは、日常的な電車利用だけでなく新しい活用方法を模索しようと、京福電車存続対策勝山市民会議が中心となって企画した事業で、予定を上回る参加者に一両編成の電車は超満員。勝山駅を六時二十分に出発した電車は、東古市までの区間を夕日を浴びながら、約一時間半かけてゆっくりと往復しました。車両内にはちようちんも飾られ、夏まつりの雰囲気、手拍子の歌も飛び出し盛り上がりを見せました。

友達と参加したという松原ひろみさん(23) 元町二は、「楽しい企画ですね。若い人たちだけのお見合い列車や、パーティー列車もおもしろいと思います」と、イベント列車としての活用に期待を寄せていました。

『納涼電車』を主催した市民会議では、これからもいろんな形で電車の利用を考えていきたいと意気込んでいます。

電車利用促進

アイデア募集

市民会議では電車利用促進に関するアイデアや意見・要望を募集しています。運行に関する事、設備や施設に関する事、存続運動の今後の取り組みについてなど、どんな内容でも結構です。ぜひしお寄せください。

提出先▽京福電鉄前本線存続対策室内「京福電車存続対策市民会議」事務局(☎88-1111内線227番) または各公民館へ。(9月末日まで)



市民投句

(敬称略)

(題は、8月号表紙から。毎月20日締め切り)

大清水素顔同志で会うところ
生きてる歴史に残る大清水
大清水見守る人がいて安堵
泉湧く水ありがたや大清水
残したいみんなの知恵で清水を
住民の生活ささえた大清水
勝山も名水誇る清水有り
古きより我ら見守り大清水
老夫婦思わず歓声大清水
幼な日の溢るゝにぎわい大清水
世変りてお岩清水の自然消へ
清水や枯るる事のなき夏日
涼風に大清水の今語り継ぐ
幼き日清水祭のロマン澄む
水の出た頃のドラマがなつかしい
何時迄も残して欲しい水の里
湧き出ずる冷たき水の大清水不動明王まもる毎日
多田てるみ 郡町一
柳町邦子 元町一
宇佐美春子 東邊羽口
友安 正 大 渡
友安 正 大 渡
大清水の不動明王を守りつゝ日々清掃する人尊
祀られし不動明王仏力をさすげ満たせよ大清水の水
しつとりと打ち水映ゆる「大清水」汲み水一振り透く舞ひ上ぐる
西野はじめ 栄町三
松村 照 元町一
不動明王をふもとに湧くる大清水真夏日飲みてのみど潤す
前田をさみ 旭町一
こんこんと湧き出る清水に一人立ち昔を忍ぶ嘗六つの鐘
丸屋愛子 本 町
父の背の肩ごしに見し大清水なお湧き出でて心安らぐ
大下志峰 沢町三

編集後記

▼まだまだ予断を許さない〇ー157による食中毒。安全な給食を供給するため、学校や幼稚園、保育所ではその対応に追われ、たいへんようです。給食は子どもたちにとって楽しい時間。普通が普通でなくなつた今、早期の原因究明と対策が望まれます。▼勝山橋の歴史をたどりながら、郷土に生きた人たちの生活を感じる事ができました。橋のない時代には、想像もできないほどの苦労があつたに違いないかもしれません。暑い夏も終わり、秋空の下、黄金色の田園で収穫作業が始まりました。